

## 1 1月活動だより

久井町地域おこし協力隊 藤原亜美



協力隊として活動を始めて、あっという間に2か月が経ちました。幸運にも活動拠点の久井町坂井原で8年空き家になってたお家を借りられることになり、空き家の掃除からゴミ捨てる、正直とてもしんどいところを地域の方に助けていただいて、なんとか生活基盤を整えることができました。地域の方々にただただ感謝です。

空き家を活用していくとはこれだけの手間と労力、人のエネルギーが集まらないとできないことなんだと身をもって学びました。

私の場合は協力隊として地域の方がものすごくサポートしてくださったおかげで、空き家を見つけられたし、掃除も手伝ってもらえたけれど、縁のないところに移住しようという人にはどうだろう？やはり地域のサポートは必要だろうと思いました。今後の空き家・移住対策を考えるうえでも貴重な経験となりました。

そして、やっと暮らしを始めることができるようになったので、いままでずっとしたいと思っていた沢庵や白菜の漬物などの保存食づくりを地域の方に教わりながら行いました。地域に馴染むには、お百姓しごとを覚えると共通の話題ができていいよ、というアドバイスもいただいたし、私の定住後の目標である、田舎暮らしを体験できる宿をつくっていく上でも、保存食づくりは欠かせないのでどんどん腕を磨いていきたいです。



また、持続可能なまちづくりという視点で、久井にあるものを活用して何かできないだろうかと考え、久井には森がたくさんあるので森をもっと遊べるフィールドにしたいと思いました。子どもも大人も遊べる、遊び場として森を活用できたらと考えています。手始めに森の手入れの講習も受けました。間伐した木材でスプーンづくりなんかもできたら面白そう！楽しい元気な森づくりを、色んな世代の人たちと共有できたらと思っています。